

揺れやすさ(東京湾北部地震)と市内の建築物データを基に、揺れやすさのマップで示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を危険度として、地震による揺れによって発生する建物被害想定を分布図により評価して示したものです。

この「危険度」は、建物被害の原因である「揺れ」から建物種類(木造・非木造)及び建築年次などを考慮して建物想定被害(建物の全壊)の割合を50mメッシュでランク分けしたものです。

